

第5回川上ダムモニタリング部会を開催します

近畿地方ダム等管理フォローアップ委員会「第5回川上ダムモニタリング部会」を下記のとおり開催します。

この部会は、ダム等の管理に係るフォローアップ制度に基づき設置しているものです。

部会では、モニタリング調査結果の分析・評価について、学識経験者から指導・助言をいただきます。

記

1. 開催日時 令和6年2月20日（火）14時00分～16時00分
2. 開催場所 京都JAビル 会議室201
（京都市南区東九条西山王町1）
3. 議事内容 ・ 令和5年度のモニタリング調査結果
4. その他 ・ 部会は開会から閉会までを報道関係機関へ公開します。
・ ビデオ収録、録音および写真撮影は、冒頭の委員長あいさつまでとさせていただきます。
・ 資料は、当日配布いたします。

令和6年2月13日



独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所

発表記者クラブ

伊賀記者会

名張市政記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 木津川ダム総合管理所 総務課長 はせがわ 長谷川

住 所：〒518-0413 三重県名張市下比奈知2811番地2

電 話：0595（64）8961

報道関係機関の皆様へのお願い

- ・川上ダムモニタリング部会は開会から閉会までを報道関係機関へ公開します。
- ・ビデオ収録、録音および写真撮影は、冒頭の所長あいさつまでとさせていただきます。
- ・部会閉会后に部会に関する記者質問対応の時間を設けますが、閉会時間は予定より遅くなる場合がありますので予めご了承ください。
- ・参加をご希望される場合は事前の申し込みが必要です。申し込みの場合は、以下の事項を記入のうえ、2月16日(金)16時までにFAXにて当管理所までお申し込みください。

FAX宛先 木津川ダム総合管理所 0595-64-8964

参加を希望します

① 社 名 _____

② 連絡先(電話番号) _____

③ 出席人数 _____人

④ 用紙記入者の氏名 _____

川上ダムモニタリング部会の概要

川上ダムにおける、「ダム等管理に係るフォローアップ制度の実施について」（平成14年7月24日国河環第32号国土交通省河川局長通達）に基づくフォローアップ調査（以下、「フォローアップ調査」という。）の開始段階において、フォローアップ調査の内容よりも詳細に環境変化などを分析・評価し、今後のフォローアップ調査の基礎となるモニタリング調査を実施するにあたって、「川上ダムモニタリング部会」を令和元年度末（令和2年3月4日）に設立・開催し、モニタリング調査計画を策定した。

令和2年度より、策定した調査計画に従ってモニタリング調査を行っており、同部会において、調査結果の分析・評価について指導・助言を得ている。

年度	R1以前	R2	R3	R4	R5	R6	R7以降
事業	建設				試験湛水	管理	
フォローアップ制度		フォローアップ調査					
		モニタリング調査（5年程度）					
指導・助言	川上ダム 自然環境 保全委員会	近畿地方ダム等管理フォローアップ委員会					
		川上ダムモニタリング部会					

1-2 モニタリング調査計画(1/3)

第4回川上ダムモニタリング部会において、モニタリング調査計画を変更した。

■環境保全措置の効果の確認

モニタリング項目	調査項目	令和2 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和7 年度以降
		建設	建設 (試験湛水)	管理			
水質調査	定期水質調査	●	●	●	●	●	継続
	水質自動観測		●	●	●	●	継続
	水質保全設備の効果確認		●	●	●	●	
植物の重要な種の保全	移植後のモニタリング調査	●	●	●	●	●	
オオサンショウウオの 保全	幼生等の生息確認調査	●	●	●	●	●	
	成体等の生息確認調査	●	●	●	●	●	次回の両爬 哺調査まで 数年おきに 実施
	遡上路利用実態調査	●	●	●	●	●	
	人工巢穴利用実態調査	●	●	●	●	●	
希少猛禽類	オオタカ等の繁殖状況調査	●	●	●	●	●	
植生の回復	法面等の緑化の状況調査		●				植物調査の 中で実施

1-2 モニタリング調査計画(2/3)

■ 湛水による環境変化の把握

モニタリング項目	調査項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度以降
		建設	建設 (試験湛水)		管理		
貯水池の環境 (周辺を含む。)	魚類			●	●	●	フォローアップ調査 で実施
	底生動物				●		
	動植物プランクトン		●	●	●	●	
	鳥類			●			
	植物				●		
	両生類・爬虫類・哺乳類					●	
	陸上昆虫類等					●	
	ダム湖環境基図作成調査				●		
河川の環境	魚類	●		●	●	●	
	底生動物	●	●	●	●	●	
	付着藻類	●	●	●	●	●	
	沈水植物	●	●	●	●	●	
	河川植生	●	●		●		
	鳥類			●			
	河床材料の粒度	●	●	●	●	●	
	河床高	●	●	●	●	●	
	空中写真	●	●	●	●	●	

1-2 モニタリング調査計画(3/3)

■事業効果等の把握

モニタリング項目	調査項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度以降
		建設	建設 (試験湛水)	管理			
事業効果等の把握	堆砂状況調査			●	●	●	継続
	洪水調節の実績調査				●	●	
	利水補給の実績調査				●	●	
	水源地域動態調査					●	
	ダム湖利用実態調査					●	

川上ダムの概要

■ダムの諸元

ダム型式 : 重力式コンクリートダム
 堤体積 : 約455千m³
 堤高 : 84.0m
 堤頂長 : 334m
 湛水面積 : 1.04km²
 流域面積 : 54.7km²
 管理開始 : 令和5年4月

■ダムの目的

1. 洪水調節

前深瀬川、木津川沿川および淀川本川の洪水被害を軽減することを目的にダム地点における計画最大流量850m³/sのうち780m³/sをダムに貯留し、70m³/sをダムから放流する。

2. 流水の正常な機能の維持

前深瀬川や木津川の河川環境の維持・保全等、流水の正常な機能の維持を図る。

3. 既設ダムの堆砂除去のための代替補給

木津川上流にある既設ダムの堆砂除去のための代替補給の容量を川上ダムに確保し、既設ダムが堆砂除去する際、既設ダムの代わりに下流に必要な水を放流する。

4. 水道用水

伊賀市の水道用水として、最大0.358m³/sの取水を可能とする。



■貯水池容量配分図

